

# 親子で いい歯 コンクール



6月2日(月)、保健センターで「第57回親子でいい歯コンクール」第1次審査が開かれました。

このコンクールは、親子で歯の大切さを知ってもらおうと毎年行われているものです。この日は、平成19年度中に3歳6か月児健康診査を受けた183名の中から、虫歯のないきれいな歯をもつ4名のお子さんとそのお母さんが参加されました。

歯科医師による審査の結果、日野町代表に、音羽葵ちゃん・しのぶさん親子(中道)が選ばれました。おめでとございます。これからもずっといい歯でいてください。音羽さん親子は、日野町代表として、6月26日(木)に行われた東近江地域第2次審査に出場されました。



▲参加された皆さんと審査された住井歯科医師



▲音羽葵ちゃんとしのぶさん

チヨコレートを食べないよ  
うに気をつけてるよ。食べ  
たあとには、ちゃんと歯を  
みがいてるよ!

## 感雑向綿

日野町長 藤澤直広

白い夏雲が綿向山にくつきりとかかっています。夏は暑い、だから木陰の涼しさが心地よい。環境が大切にされ四季の移

見知らぬ人たちとの出会いも楽しく手紙のやり取りもしました。

り変わりが実感できることは大切です。北海道洞爺湖でG8首脳国会議(サミット)が環境問題を主要な議題として開催されます。北海道といえば大学時代の夏休みに友人と二人で旅したことを思い出します。日本海沿いに急行「白雪」で十数時間かけて青森へ。青函連絡船で夜の津軽海峡をわたる。当時、石川さゆりの「津軽海峡冬景色」がヒットしていて歌詞にでてる「竜飛岬」を暗闇のなかに探したものでした。北海道では時間はゆっくりと流れ、列車の乗り継ぎ時間が1時間を超えることもよくありました。襟裳岬、知床、摩周湖、稚内、札幌、函館と2週間をかけて一周しました。それぞれ歌のテーマになるようなところなので見応えがありました。当時の宿泊はユースホテルを利用し、

難が続いています。人口減少社会、高齢社会の到来のなかで、どこに財源を求め何に使うのかの議論が本当に大切です。5月の国際会議でクラスター爆弾の禁止条約案が合意され、日本も参加しています。クラスター爆弾とは、親爆弾から子爆弾が飛び散り、少なくない子爆弾が爆発せずに地上に残り、それを子供など非戦闘員が触って爆発し殺傷されるといふ残虐兵器です。残虐兵器といえれば核兵器を含め禁止すればいいのに、世界中で膨大な軍事費が使われています。地球環境、食料不足、社会保障への充実した対応が求められているとき限られた財源をこちらに回せばいいのと思えます。地球環境を大切に住み良い町をつくるために力をあわせましょう。